

## 協働の手引き・事例集の作成について

### 1 現状

- ・平成 17 年 1 月に市職員向けに作成した「仙台協働本（せんだいこらぼん）―協働を成功させる手引き―」は、市民や市民活動団体が共通のルールを理解するツールとしても活用されているが、広がりには欠けている状況である。
- ・多様な主体による協働によるまちづくりを推進していくためには、まちづくりの担い手の裾野を広げていく必要があるが、現在の「仙台協働本（せんだいこらぼん）」のみでは、対象範囲及び内容の面で不十分な状況である。
- ・平成 28 年 1 月に策定した「仙台市協働によるまちづくりの推進のための基本方針」では、協働を実践するための具体的な手順や評価方法、事例等をわかりやすく示した新たな手引きの作成が盛り込まれ、また、平成 28 年 8 月に策定した「仙台市協働まちづくり推進プラン 2016」においても、協働の事例集・手引きの作成を位置付けており、今般、これらの作成を行うものである。

### 2 「協働の手引き・事例集」の作成の方向性について

本委員会での審議やアクションチーム（手引き・事例集）での検討結果を踏まえ、以下の方向性で新たな手引き・事例集を作成する。

#### (1) 市民向け「協働の手引き・事例集」の新規作成

市民がまちづくりへの関心を高め、担い手としての第一歩を踏み出してもらうとともに、協働が円滑に進むよう、市民向けの「協働の手引き・事例集」を新たに作成する。

##### ① 手引きと事例集を一体的に作成する。

協働の定義や手順といった教科書的な内容は極力抑えて、人物に焦点を当てた協働の事例紹介をメインとすることで、協働の必要性や魅力が効果的に伝わる（実感できる）内容とする。

##### ② 冊子版と映像版の 2 本立てとする。

冊子版の内容の一部を再構成した映像版を作成して発信するなど、映像が持つインパクトなどの利点を生かした内容とする。

##### ③ 多様な主体の参加により作成する。

掲載する事例（人物）の情報収集や取材、原稿作成、写真・動画撮影等において、興味・関心のある市民等の協力を得ながら作成する。

##### ④ 完成後の様々な活用方法にも対応できるつくりとする。

ホームページや SNS での発信、パネル化による展示など、手引き・事例集の広範な普及を図るための様々な活用方法に対応できるつくりとする。

＜本委員会やアクションチームで出されたアイデア・意見＞

- ・市内の協働事例を関係者 1,000 人の登場により紹介する内容とする。（協働の定義を 1,000 人が

携わる事例で行う。) 1,000 人という多くの人を紹介することで、身近な方が取り上げられる可能性があり、親近感が生まれる。

- ・活動内容のほか、協働のきっかけ、失敗例、アドバイスなどをテンプレート化して掲載する。
- ・作成においては、サポセンでの市民ライター講座受講生・卒業生やカメラ女子、WE SCHOOL 生などに協力を依頼する。
- ・事例については、パネル化してサポセンやメディアテークなどで展示する。

## (2) 市職員向け「仙台協働本（せんだいこらぼん）」の改訂

市職員が協働の視点を持ちながら業務にあたることができるよう、よりわかりやすく使いやすい内容とするとともに、これまで同様に市民や市民活動団体等が共通のルールを理解するツールとしても活用されるような改訂を行う。

### ① 市民向け「協働の手引き・事例集」の内容を踏まえた改訂を行う。

市民向け「協働の手引き・事例集」で収集した事例や、使用した写真等も活用するなど、時流に即しつつ、手に取りやすく親しみやすい内容を目指す。

### ② 協働の経験や関心のある市職員の参加により改訂を行う。

市民活動実践者や専門家のアドバイスもいただきながら、協働に関する庁内研修の受講者など、協働の経験や関心のある市職員の参加により、業務内容や職員の意識も踏まえ、わかりやすさ、使いやすさの視点に立った内容の検討を行う。

## ◆「協働の手引き・事例集」の全体イメージ

種類	対象	内容	活用方法	作成体制	期待される効果
市民向け ※新規作成	冊子版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民</li> <li>・地域団体</li> <li>・市民活動団体</li> <li>・企業</li> <li>・教育機関（市職員）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・協働の事例紹介がメイン（人物に焦点）</li> <li>【例】協働の事例に携わる市内の1,000人</li> <li>・活動内容のほか、協働のきっかけ、失敗例、アドバイスなど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPに掲載</li> <li>・団体に配付</li> <li>・サポセン等の施設に常備し研修で使用</li> </ul> ※パネル化による展示にも対応	多様な市民の参加による作成（関連講座受講者、市民活動団体など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな担い手の増加</li> <li>・協働事業の増加</li> <li>・先進事例としての認知</li> </ul>
	映像版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働の事例紹介がメイン（人物に焦点）</li> </ul> ※冊子版の内容の一部を再構成して作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPで配信</li> <li>・団体内の研修で上映</li> <li>・サポセン等の施設で上映</li> </ul>		
市職員向け ※「仙台協働本」の改訂版	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市職員</li> <li>（市民</li> <li>・地域団体</li> <li>・市民活動団体</li> <li>・企業</li> <li>・教育機関）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働の本質（協働の背景・効果等）</li> <li>・協働の基本的な流れ</li> <li>・協働の評価方法 など</li> </ul> ※現行の「仙台協働本」を基本	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HPに掲載</li> <li>・職員研修で配付</li> </ul>	市職員を中心とした改訂（庁内研修受講者、市民協働推進課）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協働の視点を有する職員の増加</li> <li>・市民協働事業の増加</li> </ul>

### 3 今後のスケジュール

- ・ 平成 29 年 2 月      骨子検討  
                         実施体制の検討  
                         掲載事例収集開始
  
- ・     "     3 月            骨子取りまとめ
  
- ・     "     4～5 月        協働まちづくり推進委員会への報告
  
- ・     "     5 月            取材及び制作開始
  
- ・     "     秋              完成予定